



## 平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月15日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 大谷 淳 TEL 03 (5643) 7890  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	1,784	2.9	28	△85.2	8	△94.9	43	△64.7
29年6月期第3四半期	1,733	—	190	—	174	—	122	—

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 43百万円 (△64.7%) 29年6月期第3四半期 122百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	14.42	14.10
29年6月期第3四半期	42.02	41.94

(注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成29年6月期より行っているため、平成29年6月期第3四半期の増減率は記載しておりません。  
 2. 当社は、平成29年4月1日に普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第3四半期	3,132	867	27.6	287.79
29年6月期	2,736	814	29.7	272.25

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 864百万円 29年6月期 813百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,491	8.6	110	△60.5	100	△62.0	137	△56.5	45.79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 平成30年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	3,004,950株	29年6月期	2,989,950株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	100株	29年6月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	3,000,416株	29年6月期3Q	2,921,703株

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想の修正につきましては、平成30年4月20日に公表いたしました「平成30年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、海外経済や政策に関する不確実性の影響などもあり、先行きについて留意すべき状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、再生樹脂増産のための設備を本格稼働させ、また、製鋼副資材を量産品として出荷開始するなど、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、将来の新規事業に係る積極的な研究開発投資を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,784,467千円（前年同期比2.9%増）、営業利益28,104千円（前年同期比85.2%減）、経常利益8,767千円（前年同期比94.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益43,280千円（前年同期比64.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、使用済みカーペットタイトルの調達量も順調に推移してきました。

また、底堅いリニューアル需要を受け、原状回復時のカーペットタイトルの張り替え件数が増えていることに加え、インテリア業界においては環境対応製品の市場がさらに拡大しており、その基礎原料としての当社グループの製品に対する需要は引き続き堅調に推移しております。更に、新規事業として開始した製鋼副資材製造事業は予定通り量産品販売を開始し、今後の収益貢献への期待ができる状況となっております。

一方で第1四半期連結会計期間において、増産のための設備設置工事及び試運転期間があり、その間一部製品について製造・販売を停止していたこと、及び、量産開始後に初期の設備不具合が発生し製造原価が増加するなどの影響により一時的な収益悪化要因が発生しました。また、人員の増強や新規リサイクル技術の研究開発費等の費用が増加しました。この結果、売上高は535,946千円（前年同期比15.9%減）となり、セグメント損失は44,301千円（前年同四半期はセグメント利益85,706千円）となりました。

## ② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイトルリサイクルに関連したオフィス系改修工事に伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。また、インバウンド需要に関連した商業施設やホテル等の大型改修工事に関しても受注件数は安定的に推移しており、市場が拡大しているマンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理までの一括受注体制の強化が引き続き業績に寄与しております。この結果、売上高は1,264,664千円（前年同期比12.1%増）となり、セグメント利益は235,818千円（前年同期比9.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,351,628千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ100,654千円増加しております。これは主として受取手形及び売掛金が120,504千円増加、未収還付法人税等が63,451千円減少、繰延税金資産が38,229千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,694,826千円となり、前年度末と比べ247,193千円増加しております。これは、主として有形固定資産が219,942千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産は86,199千円となり、前年度末と比べ48,626千円増加しております。これは、主として開業費が48,626千円増加したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は625,539千円となり、前年度末と比べ732,670千円減少しております。これは主として短期借入金647,000千円減少、未払金が194,193千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,639,870千円となり、前年度末と比べ1,076,760千円増加しております。これは、主として長期借入金1,058,260千円増加、資産除去債務が19,704千円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は867,244千円となり、52,383千円増加しております。これは、主として利益剰余金が43,280千円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年8月14日に発表いたしました平成30年6月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成30年4月20日に公表いたしました「平成30年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	685,890	597,530
受取手形及び売掛金	289,094	409,599
商品及び製品	51,971	58,057
仕掛品	12,649	12,857
原材料及び貯蔵品	19,560	29,345
前払費用	24,009	21,955
未収還付法人税等	63,451	—
繰延税金資産	66,382	104,611
その他	38,670	117,758
貸倒引当金	△708	△88
流動資産合計	1,250,973	1,351,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	564,082	705,167
機械装置及び運搬具	424,887	939,956
工具、器具及び備品	66,353	80,253
土地	102,100	102,100
リース資産	92,212	103,106
建設仮勘定	451,537	24,915
減価償却累計額	△433,502	△467,886
有形固定資産合計	1,267,670	1,487,613
無形固定資産	2,620	3,359
投資その他の資産		
投資有価証券	—	30,000
繰延税金資産	57,193	59,962
敷金及び保証金	97,114	96,072
その他	24,816	19,437
貸倒引当金	△1,781	△1,618
投資その他の資産合計	177,342	203,852
固定資産合計	1,447,632	1,694,826
繰延資産		
開業費	37,573	86,199
繰延資産合計	37,573	86,199
資産合計	2,736,180	3,132,654

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,372	44,945
短期借入金	647,000	—
1年内返済予定の長期借入金	194,901	291,192
リース債務	24,188	26,651
未払金	379,825	185,632
未払費用	25,169	41,033
未払法人税等	4,434	5,861
未払消費税等	25,309	6,487
賞与引当金	13,286	18,085
その他	4,722	5,650
流動負債合計	1,358,209	625,539
固定負債		
長期借入金	338,540	1,396,800
リース債務	55,852	50,479
資産除去債務	129,162	148,866
繰延税金負債	39,555	43,724
固定負債合計	563,109	1,639,870
負債合計	1,921,319	2,265,409
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	404,622	408,372
資本剰余金	452,660	456,410
利益剰余金	△43,195	85
自己株式	△96	△96
株主資本合計	813,991	864,771
新株予約権	870	2,472
純資産合計	814,861	867,244
負債純資産合計	2,736,180	3,132,654

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年7月1日 至平成29年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年7月1日 至平成30年3月31日）
売上高	1,733,878	1,784,467
売上原価	1,192,732	1,304,911
売上総利益	541,146	479,556
販売費及び一般管理費	350,654	451,451
営業利益	190,491	28,104
営業外収益		
受取利息	36	14
受取補償金	135	—
雑収入	—	1,109
その他	363	1,656
営業外収益合計	535	2,781
営業外費用		
支払利息	7,627	11,822
株式上場準備費用	9,277	—
開業費償却	—	10,267
その他	79	28
営業外費用合計	16,985	22,118
経常利益	174,042	8,767
特別利益		
固定資産売却益	888	—
特別利益合計	888	—
特別損失		
固定資産売却損	732	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	732	0
税金等調整前四半期純利益	174,197	8,767
法人税、住民税及び事業税	69,140	2,315
法人税等調整額	△17,718	△36,828
法人税等合計	51,422	△34,513
四半期純利益	122,775	43,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,775	43,280

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	122,775	43,280
四半期包括利益	122,775	43,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,775	43,280
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成28年7月28日に東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資を行い平成28年7月27日に払込が完了しております。これにより90,000株の株式発行を行いました。

当社は、株式上場に関連してオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当増資を行い平成28年8月30日に払込が完了しております。これにより24,700株の株式発行を行いました。

当社は、新株予約権の行使により当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ5,076千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が394,772千円、資本剰余金が442,810千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	605,896	1,127,981	1,733,878	1,733,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,000	511	31,512	31,512
計	636,897	1,128,493	1,765,391	1,765,391
セグメント利益又は損失 （△）	85,706	214,762	300,468	300,468

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	300,468
セグメント間取引消去	84
未実現利益の調整額	△241
全社費用（注）	△109,820
四半期連結損益計算書の営業利益	190,491

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験技術費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年7月1日至平成30年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	521,515	1,262,952	1,784,467	1,784,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,431	1,712	16,143	16,143
計	535,946	1,264,664	1,800,611	1,800,611
セグメント利益又は損失 (△)	△44,301	235,818	191,516	191,516

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	191,516
セグメント間取引消去	△368
未実現利益の調整額	△889
全社費用（注）	△162,153
四半期連結損益計算書の営業利益	28,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験技術費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「再生樹脂製造販売事業」に区分しておりました当社グループに係る全社費用につきまして、各セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、前連結会計年度末よりこれを配分しない方法に変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報に関しましても、変更後の計算方法に基づき集計しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。